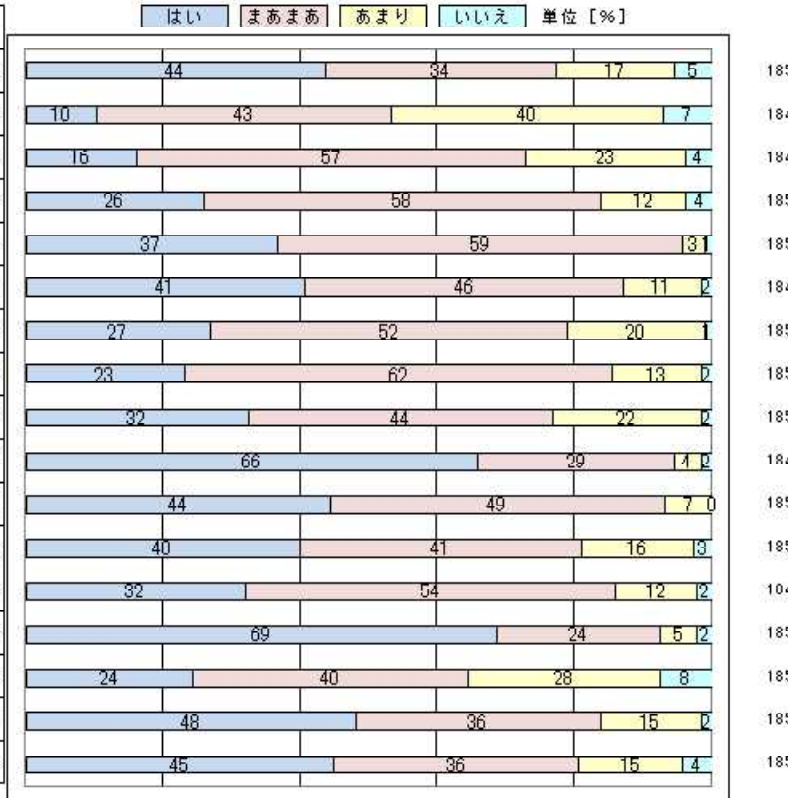


全学年生徒アンケート集計結果	回答数 185			
	4	3	2	1
1 夢や目標をもっている。	81	62	32	10
2 自分には、よいところがあると思う。	19	79	73	13
3 先生は、自分の気持ちを理解している。	30	104	43	7
4 先生は、いじめなど、学校で起こった問題に真剣に取り組んでいる。	48	107	23	7
5 先生は、授業でわかりやすく教えている。	68	109	6	2
6 自分は、学校に行くのが楽しい。	75	85	21	3
7 自分は、気持ちのよいあいさつをしている。	50	96	37	2
8 自分は、人のいやがることはしない。	43	115	24	3
9 自分は、掃除をよくしている。	60	82	40	3
10 自分は、信頼できる友達がいる。	121	53	7	3
11 自分は、学校のきまりを守っている。	82	90	13	0
12 自分は、生徒会・委員会活動・学級の役割に熱心に取り組んでいる。	74	76	30	5
13 自分は、授業に真剣に取り組んでいる。	59	99	22	4
14 自分は、朝の読書の時間に集中して取り組んでいる。	127	44	10	4
15 自分は、家庭学習をする習慣が身についている。	45	74	52	14
16 自分は、健康に気をつけている。	89	66	27	3
17 学校が作成・配布したプリントを家の人に見せている。	83	66	28	8



生徒評価の結果と考察

校長 佐伯 玲子

今回のアンケートで初めて入れた項目「1 夢や希望をもっている」「2 自分にはよいところがあると思う」は、全国学力状況調査にも入っている項目です。「1」については昨年度の調査結果（秋穂中3年生）ではA評価（当てはまる）42%、B評価（どちらかといえば当てはまる）28%で、全国・県平均よりも低い結果が出ていました。そのこともあり、昨年度からキャリア教育への取組に力を入れてきました。今回、A評価44%、B評価34%となり、昨年度D評価が14%あったのが5%と、ほとんどの生徒がはっきりとはしなくても何らかの夢や目標をもっていることがわかりました。しかし、「2」については昨年度も全国・県よりも低かったのですが、それよりも低い結果となっており、どの生徒もみんなもっているよさを認識できる機会を設定する必要があることが見えてきました。

他の項目については、昨年度の結果と比べてあまり変化はありませんが、「5 先生はわかりやすく教えている」のAB評価を合わせたものが、93%から96%へ「11 学校のきまりを守っている」のAB評価を合わせたものが、88%から93%へと伸びてきています。また、前回お知らせしました保護者評価と同様、D評価の割合は少なくなっています。

今後の課題としては、先に述べた「2 自分には、よいところがある」という自己肯定感と「15 自分は家庭学習をする習慣が身についている」という家庭学習習慣の定着があげられます。「2」については、3学期中に「友だちのよさ、自分のよさを発見」する時間を設定したいと思います。また、そのよさをどうやって伸ばせばよいかや自分に自信もてる役割や場面設定についても学校全体としてどうしくむかを考えていきたいと思ひます。「15」について、学校としては今取り組んでいる自主学習ノートやドリームアッププリントの提出をより確実にしていきたいと思ひます。